

うちのこうくん

二年 佐川さん

わたしは、ハムスターをかっています。名前前は、こうくんといって男の子です。毛の色は白で雪見だいふくみたいで、まん丸でとてもかわいいです。

わたしは、生きものの中で一ばんハムスターがすきです。それで、お父さんとお母さんにおねがいしました。お父さんは、

「生きものをかうには、毎日、学校に行く前に、朝ごはんをあげてから行かなくちゃ、しんじやうよ。」

と、言ったので、やくそくをしました。

わたしは、毎日、学校に行く前に、えさとお水をあげます。こうくんはヒマワリのたねとおせんべいが大すくで、それをいつもまっ先にたべてしまいます。ヒマワリのたねを上手に手と口でむいて、すごいスピードでたべているところがおもしろくてかわいいです。いつもいそいでたべるので、すぐほっぺがパ

ンパンになっていきます。

毎しゅう日曜日に、お父さんとこうくんの
おうちのおそうじをします。一しゅう間ぶりに
そうじをすると、こうくんのねどこにヒマ
ワリのたねのからがたくさん入っています。

「こうくんは、ほっぺの中にえさをためて自
分のねどこでじつくりとたべているんだね
と、お父さんが教えてくれました。ねどこで
たべるなんてずるいと思いました。毎回家が
きれいになると、回し車にまっ先におかひ、
気もちよさそうにグルグル回っています。た
まに自分のスピードについていけず、とんで
いる時があり、かぞくみんなでわらってしま
います。

六月のある日、こうくんが体をかゆがりだ
しました。次の日には手が赤くなり、みるみ
るうちにおなかの毛がなくなってしまうし
た。体をかゆがっているこうくんがつらそう
でかわいそうでした。お父さんがおそうじの
回数をふやして、きれいにしているのに、な

んでだろうと思いました。ハムスターを見て
くれるびょういんがなく、日に日にこうくん
の元気がなくなっていきました。

何日かたって、お姉ちゃんがこうくんをみ
てくれるびょういんを見つけてつれて行って
くれました。わたしは、あん心しました。こ
うくんは、家の中にしいてあるかみのチップ
が合わなくてアレルギーにんっていました。
まずは、木のチップをかえて、毎日くすりを
えさにしみこませてのませました。二しゆう
間もすると、こうくんの体の毛は生えて、す
っかり元気になりました。

「よかったね。こうくん。」

ハムスターは、二年から三年しか生きられ
ないと本に書いてありました。わたしは、え
っ、みじかいなあ、と思い、かなしくなりま
した。こうくんがびょう気をしないで、元気
に長生きしてくれるように、いっぱいかわい
がろうと思います。元気いっぱいなの、うちの
こうくん、これからもよろしくね。